

地域を担う「裏方」と「協働」の実践・研究
～ゼミ「とちお祭への裏方参画と調査・情報発信」～

長岡大学経済経営学部今瀬政司ゼミナール4年生
澤井芳秀

推薦：長岡大学経済経営学部 准教授
今瀬政司



目次

第1部 とちお祭の裏方と協働の調査研究報告

- (1) 調査研究の背景・目的と方法
- (2) 調査研究の結果

第2部 とちお祭の裏方と協働の実践活動と調査

- (1) 祭の準備活動と調査
- (2) 祭の「裏方」活動と調査
- (3) 祭の「表方」活動と調査
- (4) 祭の「協働」によるPR活動と調査

第1部

とちお祭の裏方と協働の調査研究報告

(1) 調査の背景・目的と方法

①背景・目的

- ・新潟県長岡市栃尾地域(旧栃尾市)は過疎化が進む地域。
- ・栃尾地域の祭り、「とちお祭」への「参画」と「協働」という実践的な活動と調査研究を通じて、栃尾地域の観光・文化面をアピールし、地域の活性化に貢献することが目的。

(1) 調査の背景・目的と方法

②調査研究方法

1. 祭の「表方」と「裏方」の実践活動

2. 取材・調査

とちお祭にかかわる歴史や地域の実情や祭の準備、当日、片づけの一連の流れを調査。

3. 記録

上記に関する文献、写真、動画、音声などを記録保存。

(2) 調査研究の結果

①-1 とちお祭の歴史

- とちお祭は第一回目の1955年以降、2015年度で61回目を迎える歴史の古い祭。
- 当初は「繊維まつり」という名前で栃尾の繊維業界が中心となり開催。
- 1980年に栃尾観光協会が発足。翌年に「うま市」と統合され、名称を現在の「とちお祭」へ変更。
- とちお祭では「仁和賀行進」、「全日本樽みこし綱引き選手権大会」、「大花火大会」などのイベントを開催。

(2) 調査研究の結果

①-2とちお祭の歴史

・仁和賀行進

各地区・各団体が、ユニークな衣装を着て、パフォーマンスをしながら街中を練り歩く。



・全日本樽みこし綱引き選手権大会

酒樽を積んだみこしを綱引きする
栃尾独特のイベント。



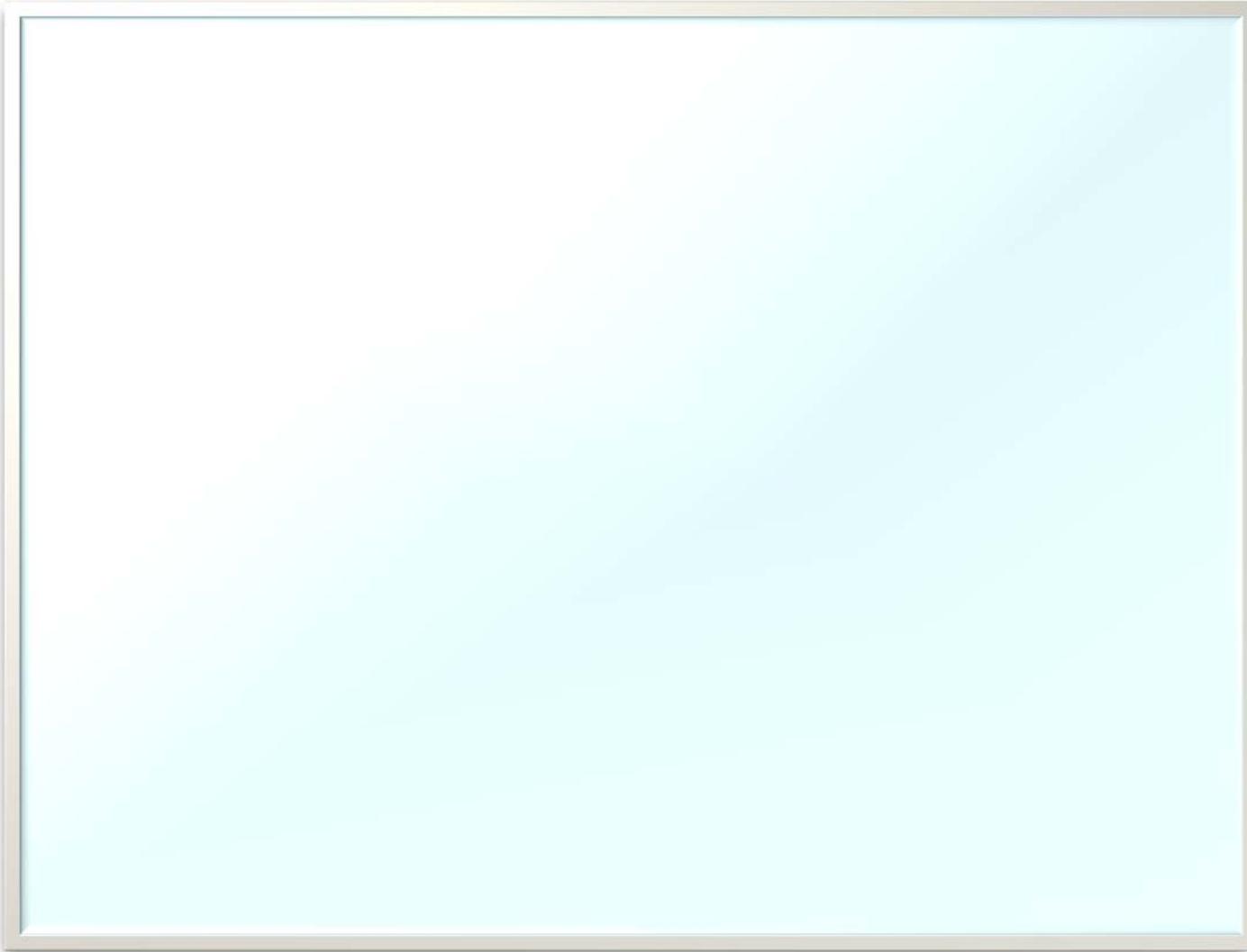
・大花火大会

花火師しかできない筒設置や、点火等以外すべて住民が手作りで行い、山の山頂で打ち上げる。



(2) 調査研究の結果

①-3とちお祭の歴史 (ビデオ動画)



(2) 調査研究の結果

②-1 とちお祭の現状・課題

◇仁和賀行進の現状・課題

- ・「仁和賀部会」では、出席者数が少なく、過疎化の現状を現したような状況が見られた。
- ・「仁和賀行進」最盛期の参加団体数15団体から、2014年度第60回とちお祭では8団体に減少。
- ・2016年度第62回とちお祭では、仁和賀行進を中止、参加人数に合わせた新たなイベント開催を検討。

(2) 調査研究の結果

②-2とちお祭の現状・課題

◇「大花火大会」の現状・課題

- ・大花火大会の準備活動は年配の方のみで行われ、若い人の顔が見受けられない。
- ・栃尾煙火協会では「点火合図を出す跡継ぎがみつからない。」という悩みがある。

◇祭全体の現状・課題

- ・「表方」の参加者は一定数いる。
- ・とちお祭の準備活動全体を通して、「裏方」での活動に関わる若い人材のマンパワー不足という現状。

(2) 調査研究の結果

③-1 今後の「とちお祭」への方策提言

- 提言1. 「とちお祭」の裏方さんが、地元で再評価されるような仕掛けをし、地元の裏方さんが増えるようにすること。
- 提言2. とちお祭の「全日本樽みこし綱引き選手権大会」を栃尾以外の地域の祭において「出前開催」し、樽みこし綱引きの魅力を多くの人に知ってもらうこと。
- 提言3. とちお祭の会場で地元の名物料理や家庭料理の屋台を多く出すようにして、域外からの来場者の楽しみを増やすこと。

(2) 調査研究の結果

③-2 今後の「とちお祭」への方策提言

提言1. 「とちお祭」の裏方さんが、地元で再評価されるような仕掛けをし、地元の裏方さんが増えるようにすること。

⇒ 栃尾地域の人自身が祭への関心・興味を深め、「裏方」をやってみようとする気になることが重要。

(2) 調査研究の結果

③-3今後の「とちお祭」への方策提言

提言2. とちお祭の「全日本樽みこし綱引き選手権大会」を
栃尾以外の地域の祭において「出前開催」し、樽
みこし綱引きの魅力を多くの人に知ってもらうこと。

⇒樽みこし綱引きの面白さを多くの人に知ってもらうこ
とで、参加者が増え、とちお祭がより賑やかに。

(2) 調査研究の結果

③-4 今後の「とちお祭」への方策提言

提言3. とちお祭の会場で地元の名物料理や家庭料理の屋台を多く出すようにして、域外からの来場者の楽しみを増やすこと。

⇒とちお祭の屋台は、一般的な屋台で食べられるものが多い。栃尾地域の名物「あぶらげ」などを屋台で出すことで来客者の注目や関心を集める。

(2) 調査研究の結果

④祭における「裏方」のあり方の提言

- ・地域を活性化するには、地域への支援者が地域に密着するだけでなく、地域に勢いをつけ、地域を盛り上げていけるような潤滑油となることが重要。
- ・栃尾地域には有志で「裏方」を担う地元の人がほとんどいない。
- ・地域の人の方で行事を存続させていくためにも、地域の人々が祭の「裏方」に興味・関心を持ち、行動に移すことが必要。

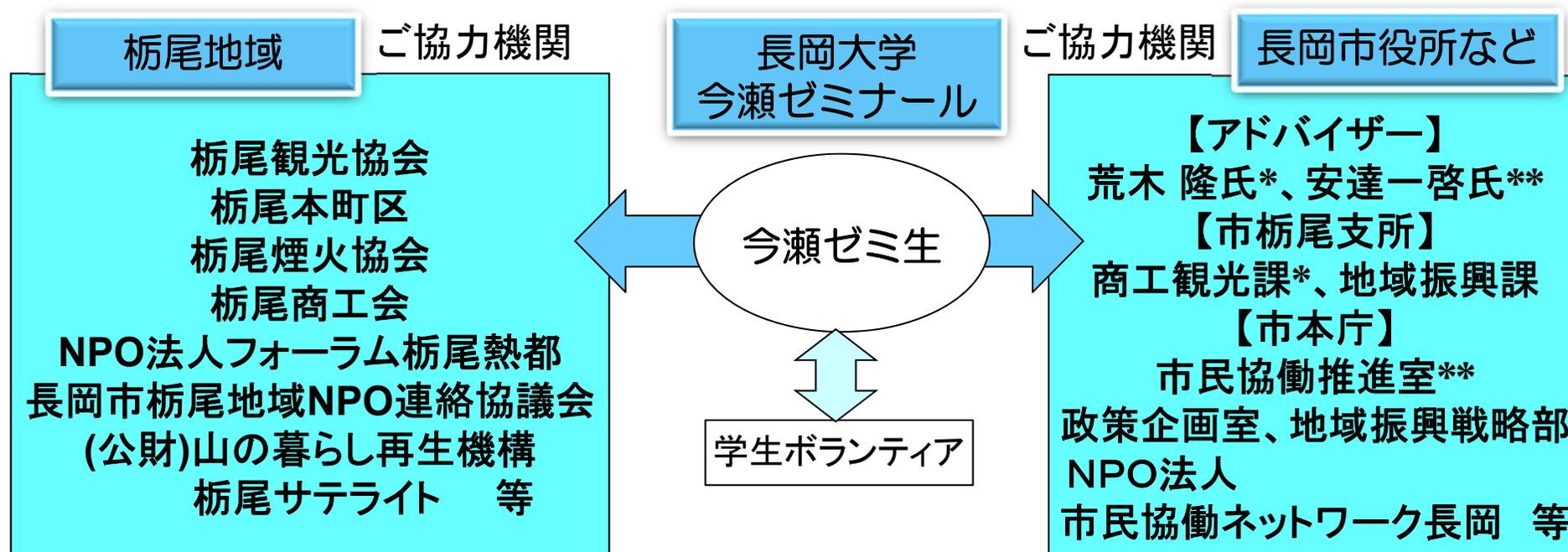
(2) 調査研究の結果

⑤-1 祭における「協働」事業のあり方の提言

- ・長岡大学の学園祭「悠久祭」での仁和賀行進の「出前開催」
- ・活動・調査結果をまとめたパネルの「長岡市内巡回パネル展」
- ・以上の二つの活動を通じて、「協働」の関係を築くには、お互いに必要性を感じ、信頼をし合える関係になる必要があるため、長い期間の関わりが重要なことが実証された。

(2) 調査研究の結果

⑤-2祭における「協働」事業のあり方の提言



第2部 とちお祭の裏方と協働の 実践活動と調査

(1) 祭の実践活動と調査

- 「表方」活動⇒とちお祭の各種イベントに出場者として参加。
- 「裏方」活動⇒事前PR活動、祭の事前準備と前日準備、
祭の片づけや振り返り等。
- 波及的な「協働」事業⇒「とちお祭」のイベントの出前開催や
巡回パネル展といったPR活動。



(1) 祭の実践活動と調査

①とちお祭開催の事前PR活動

- ・「アオーレ長岡」(長岡市役所)で開催。
- ・パネル展も同時実施の為パネルの設置作業。
- ・イベントの来場者は子供たちの保護者が多く、既にとちお祭を知っている人が殆ど。(課題)
- ・上記活動に関わる調査・記録。



(1) 祭の実践活動と調査

②とちお祭の事前準備

- ・備品倉庫から祭ののぼりや提灯、ロープ等をトラックに積み込んで運搬。
- ・のぼりを組み立て各所に設置。
- ・提灯の設置。
- ・上記活動に関わる調査・記録。



(1) 祭の実践活動と調査

③とちお祭の前日準備

- 競技場の雨除けのブルーシートがけ。
- テントや椅子など祭でつかう様々な備品の運搬。
- 大民踊流しとみこし渡御の演奏ステージの設営や提灯付け。
- 上記活動に関わる調査・記録。



(1) 祭の実践活動と調査

④花火の打ち上げ会場の前日準備

- ・発電機、防火用噴霧器を山に運ぶ作業。
- ・山火事が防ぐため、枯葉をまとめ、シートを被せる作業。
- ・防火用の簡易プールを組み立て、山の麓から水を運び入れる作業など。
- ・上記活動に関わる調査・記録。



(2) 祭の「裏方」活動と調査

①とちお祭当日の運営（1日目）

- 「全日本樽みこし綱引き選手権大会」競技会場整備。
- 「大民踊流し」、「みこし渡御」時の交通整理・誘導作業。
- 上記活動に関わる調査・記録。



(2) 祭の「裏方」活動と調査 ②とちお祭当日の運営 (2日目)

- 「大花火大会」観覧席のテント、椅子、音響設備の設置作業。
- 山頂で行われる「大花火大会」にて、花火の打ち上げに関わる。
- 上記活動に関わる調査・記録。



(2) 祭の「裏方」活動と調査

③とちお祭の片づけ

- ・テントや提灯などの備品を乾かし、倉庫へ片づける作業。
- ・花火打ち上げの際に散らばった玉の殻や燃えカス等を拾う作業。
- ・テントや防火水槽をたたむ作業。
- ・上記活動に関わる調査・記録。



(3) 祭の「表方」活動と調査

- ・表方活動として「全日本樽みこし綱引き選手権大会」、
「仁和賀行進」へ出場、参加。
- ・「仁和賀行進」では栃尾の本町区(自治会)の方々との関わりを通して、調査を進めた。

(3) 祭の「表方」活動と調査

①とちお祭2日目の表方活動

～全日本樽みこし綱引き選手権大会～

- 「全日本樽みこし綱引き選手権大会」チャレンジシップに参加。今瀬ゼミ、準優勝。
- 第62回とちお祭では、大人に混じって地元中学生が参加し、より盛り上がりを見せた。
- 上記活動に関わる調査・記録。



(3) 祭の「表方」活動と調査

②とちお祭2日目の表方活動 ～仁和賀行進～

- ・「栃尾本町区」(自治会)への取材・調査でコミュニケーションを深め、当日の一部の踊りを一緒にやらせていただけることに。
- ・当日は雨の中パフォーマンスを行った。
- ・上記活動に関わる調査・記録。



(4) 祭の「協働」によるPR活動と調査

①大学学園祭での祭の「出前開催」

- 「栃尾本町区」(自治会)との関わりを深めた結果、長岡大学にて「栃尾本町仁和賀隊パフォーマンス」を開催。
- 仁和賀行進はとちお祭でしか見られないため、PRする意味では成功。
- 上記活動に関わる調査・記録。



(4) 祭の「協働」によるPR活動と調査

②「長岡市巡回パネル展」の開催

- ・「とちお祭への裏方参画と調査・情報発信」事業における活動報告をパネル展示。
- ・「長岡大学の学園祭」「長岡市栃尾産業交流センターおりなす」、「アオーレ長岡」(長岡市役所)の三か所で開催。

